

令和3年度

与謝野町教育の事業点検・評価
報告書

令和5年2月

与謝野町教育委員会

1 事務事業点検と評価の概要

(1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し公表しなければならないとされています。

この報告書は、同法の既定に基づき、令和3年度に与謝野町教育委員会が執行した事業の取組状況と成果をまとめ、自己点検による評価と学識経験者による外部評価をいただいて整理したものです。

この点検と評価を今後の教育委員会活動や教育施策に反映させることで、与謝野町における教育施策が、住民の皆様方のご理解の下に、より適切・円滑に推進できますよう、事業の見直しや取組の強化を図ることとしています。

(2) 点検と評価の方法

各事務・事業を「事業評価表」により自己点検と評価を行っています。さらに、学識経験者等による「事務事業評価委員会議」を開催し、外部評価をいただいています。

◆評価委員

- 学識経験者 福知山公立大学 大谷 杏 准教授
- 一般委員 2名

◆評価委員会開催状況

- | | |
|------------|--------------|
| 令和4年10月27日 | 第1回事務事業評価委員会 |
| 令和4年11月16日 | 第2回事務事業評価委員会 |
| 令和4年12月27日 | 第3回事務事業評価委員会 |

2 教育委員会開催状況

- (1) 開催回数
- 定例会議 12回
 - 臨時会議 2回

(2) 審議状況

開催日	区分	審議・協議事項
4月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町立公民館条例施行規則の一部改正について ・与謝野町立体育施設条例施行規則の一部改正について ・与謝野町社会教育委員の委嘱について ・与謝野町公民館運営審議会委員の委嘱について ・与謝野町立図書館協議会委員の委嘱について
5月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年5月与謝野町議会臨時会の議決を経るべき議案に対する意見照会について
6月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会について ・与謝野町立三河内郷土資料室運営委員の委嘱について
7月1日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町教育委員会教育長職務代理者の指名について
7月29日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
8月30日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会について ・令和4年度使用与謝野町立小学校教科用図書採択について ・令和4年度使用与謝野町立中学校教科用図書採択について ・与謝野町指定文化財の諮問について
9月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
10月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町文化財の指定・登載に係る諮問について
11月22日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会について ・与謝野町文化財の指定等について ・テニスコートナイター設備の撤去・更新・集約について
12月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・加悦伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
令和4年 1月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月与謝野町議会臨時会の議決を経るべき議案に対する意見照会について
2月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会について

		<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町文化財保護委員の委嘱について ・令和4年度与謝野町立小・中学校の管理教職員の人事異動の内申について
3月11日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度与謝野町立小・中学校の一般教職員の人事異動の内申について ・与謝野町教育委員会会議規則の一部改正について
3月28日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町スポーツ推進委員の委嘱について

(3) その他の活動

- 学校訪問 (R3.10.6～11.17) 12日間
(3こども園、6小学校、3中学校)
- 教育委員研修会 1回 (丹後連合会)
- 町総合教育会議 1回
- その他 (各種学校行事の参観、教科用図書採択地区協議会など)

3 事業の総括

与謝野町教育委員会では、「与謝野町教育の重点」並びに「与謝野町社会教育の重点」を策定し、京都府教育委員会との連携のもと、地域の文化や資源を取り入れた与謝野町ならではの特色ある教育行政を推進しております。

「与謝野町教育大綱」の教育理念である「世界中の国や地域で、自らの責務を果たすことができ、自信と思いやりにあふれ、創造的に未来を開拓する精神をもつ人間を育む」ため、教育大綱で定めた基本目標の具現化を目指してまいりました。

また、開かれた教育行政を推進する観点から、町の教育施策について、町有線テレビや広報誌等を通じて積極的な広報に努めるほか、与謝野町の教育施策を分かりやすくまとめた「与謝野町の教育」リーフレットを作成するなど、教育施策の「見える化」に努めているところです。

令和3年度の特徴的な取組としましては、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づくICT教育を推進するため、ICT機器の活用精通した「GIGAスクールサポーター」を各学校へ派遣するなどの事業を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症に対応するため、児童生徒等の感染症対策に必要な衛生用品の購入や学びの保障につながる学校備品などの整備を行ったほか、出席停止となった児童生徒へのICT機器を活用したオンライン授業を実施するための、貸出し用Wi-Fiルーターなどの周辺機器の整備を行いました。

学校教育活動におきましては、与謝野町ならではの教育を基本に、各学校において「特色ある学校づくり」を進め、与謝野町の歴史や伝統、文化など地域の特色を生かした取組に対し、補助金を交付することで特色ある教育行政を推進しました。

また、従前から実施してきました小小、小中連携の取組等を進め、義務教育9年

間を見据え一層の充実を図っています。各中学校ブロック校長会やブロック研修会を開催し、授業公開、研修会をとおして授業改善をはじめ児童生徒の安心できる「学級・学校づくり」を進めています。

なお、町独自の取組として、学級満足度調査という心理検査を実施し、子ども達それぞれの「心の状況」や「学校での生活意欲」などの内面を探り、分析することにより、安心安全な「学級・学校経営」を進めています。

また、保幼小連携の充実を図るため、保育所・認定こども園の園長会議に指導主事が出席し、幼児期の教育と小学校教育の接続に向けた計画（保幼小接続カリキュラム）を具体化し、共通理解のもとに指導を行い、小学校に入学した子ども達が、学校生活の変化にうまく適応できるよう一層の推進・連携を図っています。

施設面におきましては、学校便所の洋式化を計画的に進めており、令和3年度におきましては、与謝野町宮津市中学校組合において、橋立中学校のトイレの改修工事を行ったほか、廃校となった桑飼小学校の解体工事を実施いたしました。

なお、今後は、「学校の適正規模適正配置に関する基本方針【改訂版】」に基づき、「与謝野町立小学校（野田川地域）再編計画」について、児童数の推移を調査の上、随時見直しを行う必要があるほか、施設の整備については、令和2年度に作成した「与謝野町学校施設長寿命化計画」に基づき、安心安全な学校環境の整備を計画的に進める必要があります。

また、整備したICT機器を有効に活用したICT教育の充実を図るほか、老朽化している学校給食センターの移転・新築等について、検討してまいります。

社会教育分野におきましても、令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来とは大きく異なる状況となりました。しかし、2年目となることから、少しずつですが、従来の活動に戻そうという動きも見えてきました。

社会教育活動の拠点となる公民館や体育館などでは、緊急事態宣言等により、施設の臨時休館などを余儀なくされた時期もありましたが、京都府の指針等を参考に、令和3年10月より、収容人数の半数での利用とする運用を取りやめました。しかし、3人掛けの机に2人掛けを推奨するなど、完全にコロナ前に戻すまでには至っていません。

講座やイベントについても、町を代表する大規模イベントである登山マラソンやスポーツ協会主催の駅伝大会、文化協会主催の文化祭という各団体の主要事業が令和2年度に引き続き中止されましたが、俳句大会や人権講演会・こども発表会などは開催することができ、中央・地域公民館の講座についても緊急事態宣言が出ていない期間については概ね実施することが出来ました。

図書館についても、コロナ対策として実施していた貸出冊数・期間の拡大を、令和3年11月より通常に戻しています。

地域においては、地区公民館の活動が令和2年度と比較して徐々に活動を再開されている館が多いように感じていますが、公民館や社会体育施設の利用者数は令和

2年度と大きな変化はなく、コロナ前の水準には戻っていません。

文化財保護の分野においては、比較的、新型コロナウイルスの影響を受けずに実施することができましたが、教育文化施設の入館者については、全国的な旅行需要等の回復が見えない中、令和2年度と大枠としては同じような状況が続いています。

そのような中、平成29年度から取り組んでいる与謝野町文化財保存活用地域計画の策定事業については、国との最終調整段階にまで漕ぎつけることができ、令和4年度の認定と実施を見込んでいます。

また、施設面におきましては、岩滝体育館改修工事と、旧加悦鉄道車両車庫新設工事の2件の比較的規模の大きな工事を終わることが出来ました。

岩滝体育館改修工事につきましては、雨樋が劣化し危険な状態になっていたため、その修繕が大きな目的でしたが、工事を実施する中で、長年の懸案事項であった屋根の雨漏りについても可能な範囲で修繕を行うことができました。

旧加悦鉄道車両車庫新設工事につきましては、本町が宮津海陸運輸（株）様から無償で譲り受けた「123号機関車」（国重要文化財）等3両を保管するための車庫を旧加悦鉄道加悦駅舎横に新設したもので、国の補助金だけでなく、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税などの新しい制度を活用し、財源の確保を行いました。

また、テニスコートナイター設備の集約について関係団体との協議が整い、令和4年度以降の設計や工事等に取り組んでいく下地を作ることができました。

与謝野町教育委員会事務事業評価に関して（令和3年度分）

大谷 杏（福知山公立大学 准教授）

1 総評

令和3年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けた一年となった。学校教育分野においては、衛生用品の購入や学校備品、出席停止となった児童生徒のためのオンライン授業用貸し出し用 Wi-fi ルーターの整備が行われた。社会教育分野においても、緊急事態宣言によって施設が臨時休館となり、登山マラソン、駅伝大会、文化祭は中止となったが、俳句大会、人権講演会、こども発表会は予定通り開催された。また、図書館の貸し出し冊数や期間の延長も通常に戻り、緊急事態宣言期間外は公民館の講座も概ね行うことができた。特に人権学習に関しては、町と地域の公民館でそれぞれの取り組みがなされ、相乗的に効果を上げている点は評価できる。文化財の保護分野においては、比較的新型コロナウイルスの影響を受けずに実施が叶ったが、教育文化施設の入館者数の回復には至っていない。このように、いずれの分野においてもコロナ禍以前の水準には達しないものの、限られた機会の中で様々な取り組みが行われ、とりわけ学校において児童生徒の心のケアも含めたきめ細かい対応がなされた点は高く評価できる。

新型コロナ対策以外では、ICT 機器の活用精通した「GIGA スクールサポーター」を各学校に派遣する事業や（教育振興費一般経費）、地域特性を生かした取り組みを支援する「特色ある学校づくり」が推進され、安心安全な「学級・学校運営」のための学級満足度調査が実施された他、幼保小の連携強化に向けた会議や研修会が開催された。また、施設面においても、岩滝体育館の改修工事と旧加悦鉄道車両車庫新設工事という大規模な工事2件が完了するなどといった取り組みがなされた。今後は、より一層、地域の児童生徒数の推移に沿った形での施設の改修や長寿命化計画の実施、施設の多機能化や複合化が求められる。以上の点を総合的に判断すると、令和3年度における与謝野町の教育委員会事務事業としては「おおむね良好」と評することができる。その一方で、以下の点については更なる改善が求められる。

・学校施設の老朽化が進んでいるため、児童の推移と教育的効果を見据え、長寿命化・雨漏りなどを中心に改修工事を計画的に行う必要がある。特に野田川地域については、小学校の再編のあり方も含めた早急な対応が求められる。

・文化財を活用していく際に、保存から展示することで、より多くの人々の目に触れることはできないだろうか。古墳公園での復元作業の見学などを含め、町内の文化財を体系的に見学できるようなルートづくりが求められる。

・俳句大会は回を重ねており、マンネリ化を防ぐ取り組みの検討が求められる。

2. 昨年度の指摘事項の取り組みについて

・昨年度の指摘事項①

「学校 ICT 環境整備事業」において、タブレット端末の効果的かつ効率的な活用のために、教員に対しスキルアップの機会の提供、より多くの実践、研究を行うことのできる環境づくりが必要とされる。

⇒今年度は「新型コロナウイルス感染症対策事業」や「教育振興費一般経費」により、備品の整備や GIGA スクールサポーターの業務委託が行われた。専門知識を持つスクールサポーターが各校を巡回することにより、学校間、教員間の格差は少しずつ縮まってきている。加えて、ICT 支援員の配置により、機器の活用をサポートする新たな仕組みが構築された。

・昨年度の指摘事項②

「小学校・中学校施設整備事業」の長寿命化改修・改築においては、町の未来の姿を思い描き、有効利用を念頭に置いた多機能化・複合化を町全体で目指していく必要がある。

⇒橋立中学校のトイレの改修工事や廃校となった桑飼小学校の解体撤去工事が行われた。「学校の適正規模適正配置に関する基本方針【改訂版】」に基づき、児童生徒数の状況も鑑みた上で、長寿命化や再配置について、町民の意見を聞きながら、町としての方針を引き続き検討していく必要がある。

3. ピックアップ事業について

(1) 学校教育課

・新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルスの蔓延は期せずして「GIGA スクール構想」を後押しし、遠隔授業に必要なヘッドセットやスタンド、ルーターを持たない家庭への貸し出し用ルーターなどが整備された。

・教育振興費一般経費

タブレット端末を用いて教科書の QR コードを読み取り、音楽の楽曲や英語の発音を確認することができるなど、教育の可能性の幅は広がっている。また“Teams”を活用した遠隔授業は絵文字が使用でき、コミュニケーションに困難を抱える子どもの学習にも役立っている。今後、不登校への対応などにも ICT の活用が期待でき、対面授業との間に見られる心理面での差異をきちんと評価した上で、適切な形で用いられることが望ましい。また、整備された ICT 環境の活用、低学年の子どもへ向けた指導、学校間や教員間の格差を縮めるために、更なる事業の展開が期待される。

(2) 社会教育課

・図書館管理運営事業

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、おはなし会をはじめいくつかのイベントが中止になったものの、図書の貸し出し期間を2週間から4週間に延長したことや貸し出し冊数を10冊から20冊に増冊したことから、町民人口に対する図書総貸し出し冊数の割合が増加し、読書活動への参加率が向上した点は評価できる。一方で、各館の図書がバリエーションに欠け、「同じような本が並んでいる」状況を避けるためにも、図書の入れ替えや、分館ごとに蔵書を把握し、それらを上手く組み合わせることができるような仕組みづくりが望まれる。また、多様な図書へのアクセス方法として、町民に対する府立図書館からの貸し出し文庫や取り寄せサービスの一層の周知も有効であると考えられる。

・文化財保護・活用事業

令和3年度は、旧加悦鉄道車両車庫の新設および防犯カメラの設置、滝のツバキ樹勢回復事業等が行われた。文化財の活用が望まれる中で、旧加悦鉄道加悦駅舎ではSLが走っていた当時の映像資料を流す、音声ガイドを設置するなどといった工夫が求められる。子どもだけでなく様々な年齢層に教育的効果が期待できるため、このたび移設された旧加悦鉄道車両群等の文化財についても、学習の場として、観光資源として生かしていく方向性を模索するなど、保存から展示へ更なる工夫が必要となるであろう。

滝のツバキについては、日当たりに配慮した伐採等も行われており、今後は周囲の景観も含め保護していく必要がある。木もひとつの文化財であることから、巨木を訪ねるツアー実施の検討も文化財活用という点からは意義深いことである。

4. その他

・学校における新型コロナ感染対策（黙食、マスクの着用、換気など）は高く評価できる。新型コロナウイルス蔓延下における子どもへの影響を把握、学びの機会を保障し、接触が難しい中でも地域との関係を保つ工夫が求められる。

・「生涯学習支援事業」による卒業式の袴・ブーツ貸出の取り組みは、希望者の増加等に伴い、今後継続していくためには様々な関係機関の連携や検討が必要である。

・公民館には運営委員会などがあり、そこで意見を交わしながら事業計画を進め、その地の特色を生かして地域を活性化させていくことも大切ではないかと考えられる。

・地域の祭りが3年間中止となり、子どもたちへの伝統文化の継承ができないなどの弊害が生じていることから、次年度以降の開催に期待したい。

令和3年度

事務事業評価シート

与謝野町教育委員会

【目 次】

放課後児童健全育成事業	1	遺跡調査事業	85
認定こども園施設整備事業	3	歴史文化基本構想事業	87
教育委員報酬	5	図書館管理運営事業	89
教育委員会費一般経費	7	農村文化保存伝習センター管理運営事業	91
指導主事等設置事業	9	三河内郷土資料室管理運営事業	93
教職員住宅管理事業	11	古墳公園管理運営事業	95
いじめ防止対策推進事業	13	椿文化資料館管理運営事業	97
事務局費一般経費	15	江山文庫管理運営事業	99
奨学資金貸付事業	17	遺跡環境維持管理事業	101
不登校等対策事業	19	社会教育施設管理運営事業	103
新型コロナウイルス感染症対策事業	21	スポーツ推進委員活動事業	105
教育振興費一般経費	23	社会体育団体育成事業	107
ALT事業	25	スポーツイベント運営支援事業	109
小学校管理運営事業	27	保健体育総務費一般経費	111
自校給食管理運営事業	29	屋外体育施設管理運営事業	113
小学校情報教育推進事業	31	屋内体育施設管理運営事業	115
小学校教育設備整備事業	33	給食センター管理運営事業	117
小学校就学援助事業	35		
小学校教育振興事業	37		
小学校教育振興費一般経費	39		
中学校管理運営事業	41		
中学校組合負担金	43		
中学校情報教育推進事業	45		
中学校教育設備整備事業	47		
中学校就学援助事業	49		
中学校教育振興事業	51		
中学校教育振興費一般経費	53		
社会教育委員設置事業	55		
社会教育指導員設置事業	57		
成人式開催事業	59		
生涯学習支援事業	61		
青少年育成事業	63		
高校魅力化推進事業	65		
学校・家庭・地域連携協力推進事業	67		
社会教育総務費一般経費	69		
公民館管理運営事業	71		
公民館活動事業	73		
地区公民館管理運営事業	75		
知遊館管理運営事業	77		
文化財保護委員会運営事業	79		
文化財保護・活用事業	81		
伝統的建造物群保存対策事業	83		

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	放課後児童健全育成事業			決算書頁	
				担当課	社会教育課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉費	作成責任者	課長 植田弘志
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名	
	施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援		施策名	
根拠法令等	児童福祉法		関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	就労等により小学生の保育を行えない家庭に対し適切な保育環境の提供を図る
------	-------------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		学童保育施設の適正配置・適正管理施設数	箇所	6/6	6/6	**/6	**/6
	※小学校区あたり1施設を開設						
指標で表せない 成果・効果							

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較	
	総事業費	45,866	48,080		2,214	一般財源	10,093	9,034
事業費	39,234	40,290	1,056	国府支出金	21,558	22,402	844	
職員人件費	6,632	7,790	1,158	地方債	0	0	0	
参考	正職員数(人)	0.91	1.07	0.16	その他特定財源	7,583	8,854	1,271
	会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	学童保育運営事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	40,260	R3新規																																				
参画と協働手法	<input checked="" type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信																																						
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()																																							
令和3年度の取組と成果																																										
主な取組	①放課後児童健全育成事業委託料・・・40,250千円																																									
	②郵便料・・・10千円																																									
<p>(1) 開設状況</p> <p style="margin-left: 40px;">施設数 6箇所(加悦、三河内、市場、山田、石川、岩滝)</p> <p style="margin-left: 40px;">開設時間 ●通常 終業後～午後6時(延長あり)</p> <p style="margin-left: 40px;"> ●学期休暇期間 午前8時～午後6時(延長あり)</p> <p>(2) 利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>定員</th> <th>開設日数</th> <th>児童数(月平均)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加悦学童クラブ</td> <td>70名</td> <td>286</td> <td>55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三河内学童クラブ</td> <td>15名</td> <td>286</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場学童クラブ</td> <td>30名</td> <td>286</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山田学童クラブ</td> <td>30名</td> <td>279</td> <td>23</td> <td>※コロナ閉所7日</td> </tr> <tr> <td>石川学童クラブ</td> <td>20名</td> <td>286</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩滝学童クラブ</td> <td>50名</td> <td>286</td> <td>44</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								クラブ名	定員	開設日数	児童数(月平均)	備考	加悦学童クラブ	70名	286	55		三河内学童クラブ	15名	286	15		市場学童クラブ	30名	286	29		山田学童クラブ	30名	279	23	※コロナ閉所7日	石川学童クラブ	20名	286	20		岩滝学童クラブ	50名	286	44	
クラブ名	定員	開設日数	児童数(月平均)	備考																																						
加悦学童クラブ	70名	286	55																																							
三河内学童クラブ	15名	286	15																																							
市場学童クラブ	30名	286	29																																							
山田学童クラブ	30名	279	23	※コロナ閉所7日																																						
石川学童クラブ	20名	286	20																																							
岩滝学童クラブ	50名	286	44																																							

細事業2	学童保育維持管理事業	類型	施設管理型	細事業事業費(千円)	31	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の実績と成果						
主な取組	①火災保険料・・・31千円					
	(1) 学童保育施設のうち、町所有施設である市場・山田学童保育所の火災保険料					
細事業3	学童保育施設整備事業	類型	施設管理型	細事業事業費(千円)	0	R3新規
参画と協働手法	<input checked="" type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の実績と成果						
主な取組	①加悦学童保育施設移転整備工事設計業務委託・・・1,650千円(全額R4に繰越)					
	(1) 加悦学童保育施設移転整備工事に係る設計業務委託					

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 <p>学童保育は、放課後等における小学生の保育環境が整わない家庭に対する支援であり、子ども達に安心な居場所を提供することが基本となる。</p> <p>家庭環境の変化等により、利用に対する町民の需要は年々大きくなる一方、指導員の確保が困難なことから定員は増加出来ておらず、待機をお願いするケースも多くなっており、一部保護者からは不満の声が聞こえる。しかし、多数の保護者の就労支援等としてのニーズには応じており、事業としての使命は果たしているものと考えます。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 <p>利用を要望する家庭の全世帯受け入れが可能となる体制を構築すること。</p>	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 <p>課題解決のための最大の障壁が、指導員の確保。そのため、現在の委託先である社会福祉協議会に指導員体制は、そのまま定員増の申し入れを行うとともに、新たな受け入れ先として、こどもの森保育園等に打診するなど定員増に向けて各種協議を進めている。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	認定こども園施設整備事業			決算書頁	
				担当課	学校教育課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉施設費	作成責任者	課長 柴田 勝久
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名	
	施策名	(施策3)地域ぐるみの子育て力の向上		施策名	
根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法		関連計画等	与謝野町子ども・子育て支援事業計画 与謝野町認定こども園整備計画	

2. 事業の目的

事業目的	保育所(園)・幼稚園を認定こども園へ移行し、3地域に1園ずつ新園舎を整備するとともに旧桑飼小学校を撤去解体する。
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		旧桑飼小学校の解体撤去	校	1/1	1/1	**/**	**/**
指標で表せない 成果・効果			**/**	**/**	**/**	**/**	** ()

4. 執行の状況

(単位:千円)

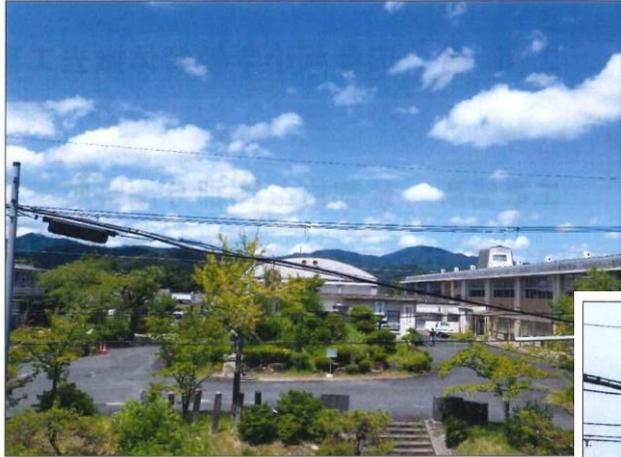
事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
	総事業費	1,597	184,447		182,850	一般財源	139
事業費	139	183,387	183,248	国府支出金	0	0	0
職員人件費	1,458	1,060	▲ 398	地方債	0	0	0
参考				その他特定財源	0	0	0
正職員数(人)	0.20	0.15	▲ 0.05				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	認定こども園施設整備事業	類型	建設・整備型	細事業事業費(千円)	183,387	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①旧桑飼小学校解体撤去工事監理業務を委託(委託料)・・・2,035千円					
	②旧桑飼小学校解体撤去工事を実施(工事請負費)・・・181,352千円					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 解体撤去工事に係る地域説明会を開催(R3.8.10 参加者24名) ・ 工事定例会を開催し、進捗状況の確認、工事内容の協議を行った(24回) 						



解体撤去前



解体撤去後

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明	
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		<p>(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p>認定こども園の周辺整備として、地域と協議を重ねながら廃校となった旧桑飼小学校の解体撤去工事を実施した。</p>	
大きく向上した。			
向上した。	○		
前年度の水準に留まった。			
前年度の水準を下回った。		<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p>記念碑等は今後新たに整備される施設に移設されることとなった。</p>	
事業の課題			
<p>(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p>安全に適正に解体撤去を行うことが求められた。また、地域の思いを尊重し、記念碑等の保全が求められた。</p>			

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名		教育委員報酬			決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 教育委員会費	作成責任者	課長 柴田勝久	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備		施策名		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律等			関連計画等	教育大綱	

2. 事業の目的

事業目的	公正かつ適正に教育行政を行い、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る
------	---

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		教育委員会議開催回数	回	13/12	14/12	**/**	**/**
指標で表せない 成果・効果			**/**	**/**	**/**	**/**	**(**)

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
	総事業費	1,993	1,991		▲ 2	一般財源	1,920
事業費	1,920	1,920	0	国府支出金			0
職員人件費	73	71	▲ 2	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.01	0.01	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	教育委員報酬	類型	内部管理型	細事業事業費(千円)	1,920	R3新規	
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				
令和3年度の取組と成果							
主な取組	① 教育委員会議の開催	14回(定例13回 臨時1回)					
	② 総合教育会議の開催	1回					
	③ 学校訪問	11回(こども園3 小学校6 中学校2)					
	④ 教育委員会事務事業評価委員会	3回					

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>従来より積極的な委員会活動を行っている。 当町教育委員は、中学校組合の教育委員も兼務しておられる中、教育委員会定例会議並びに臨時会議の開催、学校訪問、各種連合会会議への参加、研修への参加、総合教育会議の開催などを例年どおり行った。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>本町の教育委員会は積極的に活動しており、引き続きこの活動水準を維持していく必要がある。 就学前、義務教育、高等教育、社会人学習といった各段階に応じて、生涯にわたる学習をサポートすることができるよう、充実した委員会活動を展開していくことが必要と考える。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>教育委員会は、自治体に設置される合議制の執行機関であり、創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で重要な役割を担っている。 総合教育会議の開催及び首長による教育大綱の制定など、首長の権限が拡大されているが、教育委員会は従来どおり『教育の執行機関』としての役割を果たし、『政治的中立性の確保』を図る中で、よりきめ細やかな教育行政の推進に努めていく必要がある。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	教育委員会費一般経費				決算書頁		
					担当課	学校教育課	
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	教育委員会費	
						作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名	(施策4)未来を見据えた行財政運営		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律等			関連計画等			

2. 事業の目的

事業目的	児童生徒の入学時卒業時に祝品を支給することにより、母校や町に対する愛情を育む。
------	---

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	児童生徒に祝品を支給する事業であるため、成果を数値として表すことが困難である。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	1,165	1,099	▲ 66	一般財源	1,019	957	▲ 62
事業費	1,019	957	▲ 62	国府支出金			0
職員人件費	146	142	▲ 4	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.02	0.02	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	入学・卒業祝品支給事業		類型	一般型	細事業事業費(千円)	721	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				
令和3年度の取組と成果							
主な取組	①小学校入学祝品(入学写真)・・・102千円						
	②中学校入学祝品(入学写真・ヘルメット)・・・309千円						
	③小学校卒業祝品(卒業証書ファイル)・・・166千円						
	④中学校卒業祝品(卒業記念印)・・・144千円						
<p>【入学祝品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 入学写真 154名分 ・中学校 入学写真 110名分 ・令和4年度中学校入学生通学用ヘルメット 122名分 <p>【卒業祝品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 卒業証書ファイル 170名分 ・中学校 卒業記念印 135名分 							

細事業2	教育長交際費	類型	内部管理型	細事業事業費(千円)	10	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 激励金の交付 2件					
細事業3	教育委員会費一般経費	類型	内部管理型	細事業事業費(千円)	226	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 構成する各団体への負担金 5団体					
	② 事務局運営に必要な経費の支出(旅費・郵便料・名刺)					

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 (テキストボックス内に記入してください。) 児童生徒の入学時、卒業時に適正に祝品を適正に支給した。中学校の新入生にはヘルメットを支給し、生徒の安全に対して貢献することができた。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 (テキストボックス内に記入してください。) 令和2年度に校長会議の協議を基に祝品の見直しを行ったが、引き続き祝品の選定に努める必要がある。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 (テキストボックス内に記入してください。) 単なる祝品としてではなく、新入生に対しては、引き続き自転車用ヘルメット等の学校生活に必要な祝品の支給を行うことにより、保護者の負担軽減に努めるとともに、安心安全な教育環境を整えることを目的とした祝品とする。また、卒業生に対しては母校や与謝野町に対する愛情を育む品物の選定に今後も努める。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	指導主事等設置事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 与謝野町教育委員会指導主事設置に関する規則				関連計画等	

2. 事業の目的

事業目的	教職員の資質向上、児童生徒の学力向上及び不登校児童生徒等の諸問題に対し適切に対応できるように教職員を指導・支援することを目的とする。
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	学校及び教職員への指導・助言を行うことが目的であるため、成果を数値として表わすことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	6,958	7,567	609	一般財源	25	37	12
事業費	25	37	12	国府支出金			0
職員人件費	6,933	7,530	597	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.01	0.06	0.05				
会計年度任用職員数(人)	3.05	5.00	1.95				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	指導主事等設置事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	37	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①校園長会議を毎月実施、学校訪問の実施、問題事象等の指導					
	②会議・研修に参加(旅費)・・・37千円					
<p>問題事象が年々増加し複雑化しているが、校園長会議・各種部会・学校訪問を行うことで現状の把握も出来ており、令和3年度においては、コロナウイルスの感染拡大に伴う指導や対応など、状況に応じた指導助言を実施した。</p>						

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>コロナ禍での学校運営となっているため、今までにはなかった対応もあり、各学校からの相談件数は増加しているが、それぞれの指導主事により丁寧な学校支援を実施した。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>指導主事の設置は、より良い学校運営に必須であるが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、「指導主事は、教育に関し識見を有し、かつ、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項について教養と経験がある者でなければならない。」と規定されている。</p> <p>そのため、選任できる人材は限られた者となり、人材の確保が困難になっている。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>退職予定の教員に早期依頼を行うことで計画的に人材を確保できるよう努める。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	教職員住宅管理事業			決算書頁	
				担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費	作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備	施策名		
根拠法令等	与謝野町教職員住宅管理規則		関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	住居を必要とする町内小中学校の教職員に対し、低廉な家賃で住宅を供給する。
------	--------------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		入居戸数	戸	4/9	3/9	**/6	**/6
	使用料の徴収	%	100/100	100/100	**/**	**/**	** ()
指標で表せない 成果・効果							

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較	
	総事業費	82	434		352	一般財源		
事業費	82	81	▲1	国府支出金			0	
職員人件費	0	353	353	地方債			0	
参考	正職員数(人)	0.00	0.05	0.05	その他特定財源	1,608	942	▲666
	会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

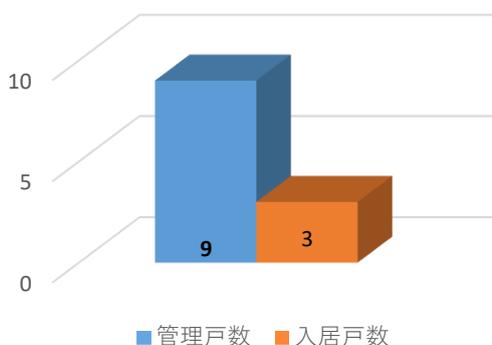
5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	教職員住宅管理事業	類型	施設管理型	細事業事業費(千円)	81	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()			

令和3年度の取組と成果

主な取組	①共用廊下、外灯の電気代の支払い(需用費)・・・15千円 ②加悦教職員住宅6号、1号の漏水修繕を実施(需用費)・・・38千円 ③建物災害共済分担金(役務費)・・・29千円
------	---

入居状況



予算執行状況(単位:千円)





↑ 加悦教職員住宅



↑ 加悦教職員住宅



← 岩滝教職員住宅

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		<p>民間住宅を賃借する際に必要な保証人等が立てられないALTに対しては大変有効な事業であるが、一般教職員の入居は無く、建築当時の目的は一定果たされたものと考えられる。</p>
大きく向上した。		
向上した。		
前年度の水準に留まった。	○	
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性	
<p>民間住宅が町内に充実されつつあることから教職員住宅のニーズはそのまま推移していくものと考えられる。空き家の期間が増えていくと住宅の老朽化は加速していくことが予測され、修繕・取壊しにも多額の費用を要することとなるため、解体または転用を検討する時期にきている。</p>	<p>本住宅のニーズは低いものの民間住宅の利用が困難なALTにとっては需要が高い。ALTの住居の確保と共に教職員住宅のあり方を具体的に検討していかなければならない。</p>	

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	いじめ防止対策推進事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	いじめ防止対策推進法			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進する。
------	---

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	重大事態の発生件数	件	0/0	0/0	0/0	0/0	0(R8)
指標で表せない 成果・効果							

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	792	353	▲ 439	一般財源	63	0	▲ 63
事業費	63	0	▲ 63	国府支出金			0
職員人件費	729	353	▲ 376	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.10	0.05	▲ 0.05				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	いじめ防止対策推進委員会運営事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	0	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①いじめ防止推進対策委員会の開催・・・0千円					
	②いじめ問題連絡会議の開催・・・0千円					
	※両会議ともにコロナウイルス感染拡大防止により書面開催としている。					

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>問題事象は発生しなかったものの、会議についてはコロナウイルスの感染拡大により書面での開催となった。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>いじめ根絶に向け、早期のいじめ対策、関係機関の連携が必要であり、今後も継続して委員会等を開催することにより関係機関が情報共有のうえ、いじめ対策を講じる必要がある。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>いじめの根絶に向け、引き続き関係機関と連絡を密にしていく。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	事務局費一般経費				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち			分野名	
	施策名	(施策4)未来を見据えた行財政運営			施策名	
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	教育の目指すべき方向性について議論を深め、更なる教育環境の充実を図る。
------	-------------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	管内校園長会議報告回数	回	2/2	2/2	2/2	2/2	2(R8)
	事務事業の評価	事業	136/136	136/136	59/59	59/59	59(R8)
指標で表せない 成果・効果							

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	2,256	5,941	3,685	一般財源	1,454	2,408	954
事業費	1,454	2,408	954	国府支出金			
職員人件費	802	3,533	2,731	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.11	0.11	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	1.00	1.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	教育事業評価委員会運営事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	72	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input checked="" type="checkbox"/> その他(福知山公立大学、住民)			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①委員への謝礼・・・44千円					
	②委員への旅費・・・28千円					
<p>○委員の構成 委員長:福知山公立大学 大谷准教授、委員:石川小学校評議員から1人、社会教育委員から1人</p> <p>○委員会の開催 第1回:10月29日、第2回:11月25日、第3回:12月3日</p> <p>全ての事業についてご協議いただいたが、4事業をピックアップ事業として、より踏み込んで協議をいただいた。 総評としては「おおむね良好」という評価をいただいたが、指摘事項もいただいたので更なる改善が必要。</p>						

細事業2	事務局費一般経費	類型	内部管理型	細事業事業費(千円)	2,336	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度を取組と成果						
主な取組	①学校事務支援システム改修委託・・・1,111千円					
	②学校事務支援システム保守委託・・・264千円					
③公用車の維持管理・・・555千円(リース・修繕・損害保険)						
○学校事務システム : 就学援助費・就学奨励費・就学前健診事務に係るシステム						
○公用車 : 普通車1台、軽自動車3台、スクーター1台						

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 (テキストボックス内に記入してください。) 学校事務システムの改修を実施したため、作業効率がアップし長期的に考えれば経費の節減につながった。
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 (テキストボックス内に記入してください。) その時代に求められる教育ニーズを把握し、教育環境の充実を図る必要がある。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 (テキストボックス内に記入してください。) これからの教育の目指すべき方向性やさまざまな教育課題について、議論を深め、学ぶため、積極的に協議会に参加し、情報交換や意見交換を行ない、教育環境の充実を図る。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	奨学資金貸付事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名	
根拠法令等	与謝野町奨学資金貸与条例・施行規則			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	大学などに修学する生徒を対象に、学業に要する費用の一部を貸与することによって経済的負担の軽減を支援する。
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム)	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
実績/当初目標			**/**	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	経済的困難から進学を諦めざるをえない生徒を1人でも多く支援することを目的としているため、成果実績を数値で表すことは困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	4,422	2,532	▲ 1,890	一般財源			0
事業費	2,964	2,532	▲ 432	国府支出金			0
職員人件費	1,458	0	▲ 1,458	地方債			0
参考				その他特定財源	2,964	2,532	▲ 432
正職員数(人)	0.20	0.00	▲ 0.20				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	奨学資金貸付事業			類型	一般型	細事業事業費(千円)	2,532	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信				
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()					
令和3年度の取組と成果								
主な取組	①貸与審査委員会委員報酬・・・12千円							
	②奨学資金の貸付・・・2,520千円 5名							
○高等専門学校・大学・専修学校に修学し、奨学資金の貸与を希望する生徒に対し、月額35,000円の貸与を行う。								

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>経済的負担により、学業に専念することに不安のある生徒に奨学金を貸与し、学業に専念する手助けをすることができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>新規貸し付けをする意義は十分あると考えるが、その債権管理は私債権となるため、税金などと比べて強制執行力がないため、債権管理が困難となる場合がある。</p> <p>過去に奨学資金を貸し付けた者で未償還の者の債権管理が課題。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>日本学生支援機構等において、給付型、貸与型など様々な奨学金制度があり、以前と比べると充実している。</p> <p>しかし、世帯収入の上限が貸与条件に定められている制度が多く、この貸与条件に当てはまらないが、家庭の事情により進学に対して金銭面の不安がある家庭もある。このように他の制度を活用できず、金銭面において進学に不安を持っている家庭に対して今後も支援を行う必要がある。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	不登校等対策事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費
						作成責任者
						課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	与謝野町教育支援センター要綱			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	不登校又はその傾向にある児童生徒の学校復帰のみならず社会的自立に向けた支援を行う。
------	---

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	不登校又はその傾向にある児童生徒一人一人と信頼関係を築きながら支援していく事業であるため、具体的な数値目標を示すことは困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	6,410	6,954	544	一般財源	212	243	31
事業費	212	243	31	国府支出金			0
職員人件費	6,198	6,711	513	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.05	0.10	0.05				
会計年度任用職員数(人)	2.30	3.00	0.70				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	教育支援センター事業		類型	一般型	細事業事業費(千円)	243	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				
令和3年度の取組と成果							
主な取組	①運営委員会の開催・・・3千円						
	②調理実習・野菜づくりなど・・・5千円						
	③PCリース料・・・106千円						
<ul style="list-style-type: none"> ・通所者 小学生延べ人数 70人 中学生の延べ人数 44人 ・家庭訪問支援 19回 							
							
プレイルーム				畑			

--	--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">大きく向上した。</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">向上した。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">通所者からの要望により、令和3年度に畑での野菜づくりを実施し、令和4年度からは、収穫した野菜などを使った調理実習などを行う予定としている。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">不登校は、心理的要因のほか、発達の課題、家庭環境等要因となる要素は様々である。このため、スクールカウンセラーやソーシャルスキルワーカー等の専門家による児童生徒や保護者への面談等の機会の拡充を図るほか、学校との連携強化が必要である。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">令和4年度から京都府の家庭教育アドバイザー事業の活用により加悦小学校にアドバイザーとソーシャルスキルワーカーを設置していただき、就学前の幼児期から就学後までの児童・生徒に専門家の支援を行う。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備		施策名		
根拠法令等				関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	1人1台タブレット型端末を活用した遠隔学習の環境整備を行う。
------	--------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	1人1台タブレット型端末を活用した遠隔学習の環境整備を行うことが目的のため、数値化することが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
	総事業費	0	1,373		1,373	一般財源	0
事業費		1,373	1,373	国府支出金		1,165	1,165
職員人件費		0	0	地方債			0
参考	正職員数(人)		0.00	0.00	その他特定財源		0
	会計年度任用職員数(人)		0.00	0.00			

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	新型コロナウイルス感染症対策事業	類型		細事業事業費(千円)	1,373	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			

令和3年度の取組と成果

主な取組	①貸出用Wi-Fi 106台・・・1,109千円 ②遠隔授業用ヘッドセット32台・・・213千円 ③遠隔授業用タブレットホルダー・三脚・・・13千円 ④Wi-Fiルーター通信料・・・38千円
------	--



タブレットで「Teams」のアプリを活用し、
双方向での遠隔学習を行う。

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>遠隔学習を行う上で必要なハード面の整備を行い、双方向での遠隔学習を行える環境を整備した。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>日進月歩のICT技術に対応した環境を構築することが、今後も求められる。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>引き続き京都府のICT推進課や近隣市町村のICT担当と情報の共有等を密に行い、さらなるICT機器の利活用に努める。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	教育振興費一般経費				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費
作成責任者	課長 柴田勝久					
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	与謝野町学校教育関係補助金交付要綱 与謝野町特別支援学校就学援助補助金要綱			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	学校に係るICT機器の整備を行う。
------	-------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	ICT機器の整備を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	4,585	19,418	14,833	一般財源	2,390	12,199	9,809
事業費	2,763	15,178	12,415	国府支出金	373	2,979	2,606
職員人件費	1,822	4,240	2,418	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.25	0.60	0.35				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	小・中学校音楽フェスティバル事業		類型	一般型	細事業事業費(千円)	8	R3新規	
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信				
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input checked="" type="checkbox"/> その他(実行委員会による実施)					
令和3年度の取組と成果								
主な取組	①音楽フェスティバルに係る消耗品の購入(記録用DVD、プログラム用紙等)・・・8千円 町内の小中学校教職員で組織する実行委員会出演校5校を選定し、各校において日頃の成果を発表した。後日、発表した様子を撮影したDVDを全小中学校に配布し、鑑賞する機会を設けた。							

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	ALT事業				決算書頁		
					担当課	学校教育課	
歳出費目	款	教育費	項	教育総務費	目	外国青年招致費	
						作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名		
	根拠法令等				関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	外国語指導助手(ALT)を活用した小中学校における英語教育の推進及び地域における国際理解教育の推進を図る。
------	---

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	ALTを外国語教育に活用することによる効果や国際理解度の向上は、長期的な視点で検証する必要があるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	11,866	12,865	999	一般財源	477	2,217	1,740
事業費	477	2,217	1,740	国府支出金			0
職員人件費	11,389	10,648	▲ 741	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.25	0.35	0.10				
会計年度任用職員数(人)	2.60	3.00	0.40				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	ALT事業		類型	一般型	細事業事業費(千円)	2,217	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				

令和3年度の取組と成果

主な取組	①ALT帰国旅費・・・451千円 ②ALT負担金・・・1,575千円
------	---------------------------------------



小中学校だけでなく、こども園等においても英語活動を行っており、幼いうちから英語に触れる機会の創出に貢献している。

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、新規ALTが来日できない状態が続いたが、最終的には来日受入れを再開することができ、充実した英語教育を児童生徒に提供することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ALTの来日に制限がある。</p> <p>また、1～2年程度で日本での生活や学校の授業に馴れる前に帰国するALTが多いということも事業の課題として挙げられる。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>ALTが長く与謝野町で過ごしやすいよう、環境を構築し、ALTの入れ替え数を減らす。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	小学校管理運営事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
	根拠法令等				関連計画等	

2. 事業の目的

事業目的	学校施設管理、保健管理を行い、教育環境の充実と安心安全な学校生活に寄与する。
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	学校運営と施設管理並びに児童生徒及び教職員への支援事業であるため、具体的な指標を示すことは困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	182,216	207,208	24,992	一般財源	139,690	131,851	▲ 7,839
事業費	139,690	131,851	▲ 7,839	国府支出金			0
職員人件費	42,526	75,357	32,831	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	2.47	1.52	▲ 0.95				
会計年度任用職員数(人)	9.85	37.00	27.15				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	小学校維持管理事業	類型	施設管理型	細事業事業費(千円)	56,245	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①老朽化した学校施設の修繕と維持管理を実施(需用費)・・・35,701千円					
	②学校施設の維持管理を実施(委託料・使賃)・・・15,428千円					
	③庁用備品を購入(備品購入費)・・・596千円					
	① 市場小学校防火シャッター修繕 1,848千円 岩滝小学校特別支援学級改良修繕 948千円 石川小学校高架水槽、受水槽修繕 847千円					
	② 機械警備委託 1,234千円 自家用電気工作物保安管理委託 1,149千円 デマンド監理業務、白アリ防除、草刈業務委託 757千円					
	③ 収納式ベッド、布団収納庫購入 350千円 窓用エアコン購入 94千円 保健室診察台、簡易ベッド購入 102千円					

細事業2	教職員健康管理事業	類型	内部管理型	細事業事業費(千円)		R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 町立小学校教職員への集団健康診査の実施(1回) …675千円 ② 町立小学校教職員へのストレスチェックの実施(1回) …10千円					
学校保健法、労働安全衛生法に基づき、必要な検査を実施するもの。						
細事業3	児童生徒健康管理事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	7,016	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 学校医・学校歯科医・学校薬剤師への報酬…5,324千円 ② 就学時健康診断に係る医師謝礼(内科・歯科・眼科)…213千円 ③ 尿検査手数料(1次・2次)…248千円 ④ 耳鼻科・眼科・心臓検診(1次・2次)に係る委託料…1,202千円					
児童等の各疾患を早期に発見するため、各種検査を実施した。						
細事業4	スクールバス運行管理事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)		R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① スクールバス運転手への報酬等 person 費 …7367千円 ② 燃料費 …1073千円 ③ 法定点検手数料等 …683千円 ④ コロナ感染対策に伴うバス増車 …220千円					
小学校統合に伴う遠距離通学を補助する						

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 (テキストボックス内に記入してください。) 新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、例年水準の事業を実施できた。 予算執行に当たっては優先順位を決めて事業を推進した。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性								
(テキストボックス内に記入してください。) 学校施設管理については年々老朽化が著しく、修繕内容も多岐にわたっており、それに伴い費用も増大している。	(テキストボックス内に記入してください。) 各学校からの要望どおりに修繕をしていくことは困難であるため、引き続き優先順位を決めながら施設の修繕を行っていく。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	自校給食管理運営事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	学校給食費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	学校給食法			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	食育の推進や運動による基礎体力の向上など、児童の健やかな発達へ向けた教育内容の充実を図る。
------	---

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	米飯残量、残菜量の削減	kg	83/83	126/80	**/78	**/76	** ()
指標で表せない 成果・効果	栄養バランスの取れた食事を提供するのが目的のため、成果を数値として表すのは困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	33,012	32,479	▲ 533	一般財源	3,440	3,398	▲ 42
事業費	16,638	16,339	▲ 299	国府支出金	0	0	0
職員人件費	16,374	16,140	▲ 234	地方債	0	0	0
参考				その他特定財源	13,198	12,941	▲ 257
正職員数(人)	1.10	1.10	0.00				
会計年度任用職員数(人)	6.00	6.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	自校給食管理運営事業		類型	一般型	細事業事業費(千円)	16,339	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				

令和3年度の取組と成果

主な取組	①食料費、光熱水費等・・・15,089千円 ②包丁研ぎ、スライサー刃研磨・・・20千円 ③給排水・衛生設備保守管理委託、給食室衛生管理委託・・・230千円 ④缶切り機、配ぜん用トレイ購入・・・176千円
------	--

・食育だより(年6回)、給食指導(年1回)

・給食の提供(延べ53,117人)、食物アレルギー対応食の対象人数14人(鶏卵1名ほか)



ある日の給食



調理中の風景①



調理中の風景②

--	--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">大きく向上した。</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 10px;">令和2年度と同様に継続した事業実施ができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 10px;">施設や大型の機械が老朽化している。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 10px;">施設の老朽化の状況や今後の児童の減少を見据えて、給食センターの改築時に単独調理場方式から共同調理場方式(給食センター)へ移行したい。</p> <p style="margin-top: 5px;">保護者に対しては、令和2年度に共同調理場方式への移行など、町の方針を説明のうえアンケートを実施したが、移行に対する不安等様々な意見があるため、今後も丁寧な説明を続ける必要がある。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	小学校情報教育推進事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名	
	根拠法令等				関連計画等	

2. 事業の目的

事業目的	ICT機器の活用による情報理解教育の推進を図る。
------	--------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	ICT機器の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	16,320	4,011	▲ 12,309	一般財源	16,320	4,011	▲ 12,309
事業費	16,320	4,011	▲ 12,309	国府支出金			0
職員人件費	0	0	0	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	小学校情報教育推進事業	類型	緊急型	細事業事業費(千円)	4,011	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①パソコン機器をリース(使用料及び賃借料)・・・2,391千円					
	②PC教室端末用ウイルス対策ソフトライセンスを購入(需用費)・・・476千円					
<div style="text-align: center;">PC教室の様子</div> 						
PC教室使用生徒数:917人						
児童用PC端末数:186台						

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>前年度に引き続き、児童がPCを使用することができる環境の維持に努めた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>国のGIGAスクール構想により、各学校に配備されたタブレット型端末と並行して、どのようにその他のICT機器を有効活用していくのかが今後の大きな課題である。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>タブレット型端末と並行してその他のICT機器を有効活用する。</p> <p>PC教室の機器については、タイピング等の授業において必要なため、引き続き必要台数をリースし授業に活用していく。</p> <p>また、学習指導要領の改定によりプログラミング教育が導入されることに加え、GIGAスクール構想によりICT機器の活用推進を行う必要があるため、これに向けての授業研究・教職員研修及び必要機器の予算化が必要である。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	小学校教育設備整備事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等	理科教育設備整備費等補助金交付要綱、理科教育振興法			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	整備率の向上と教育設備の充実を図る
------	-------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		理科教材備品の整備率	%	76/100	76.7/100	**/100	**/100
	算数備品の整備率	%	219/100	197/100	**/100	**/100	100/100
指標で表せない 成果・効果							

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
	総事業費	3,815	1,666		▲ 2,149	一般財源	380
事業費	455	959	504	国府支出金	75	323	248
職員人件費	3,360	707	▲ 2,653	地方債			0
参考	正職員数(人)	0.45	0.10	▲ 0.35	その他特定財源		0
	会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00			

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	小学校理科教育設備整備事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	847	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()			

令和3年度の取組と成果

主な取組	①大型地層のでき方実験器を購入(備品購入費)・・・184千円 ②関節の構造模型などを購入(備品購入費)・・・464千円
------	--



大型地層のでき方実験器

細事業2	小学校算数教育設備整備事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	112	R3新規														
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信																
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()																	
令和3年度の取組と成果																				
主な取組	①三河内小学校 時計模型1セット購入(需用費)・・・18千円 ②市場小学校 ストップウォッチ2個購入(需用費)・・・10千円 ③石川小学校 中型直線定規4個購入(需用費)・・・10千円																			
<div style="text-align: center;"> 算数教育設備整備事業 令和3年度 整備率 </div> <table border="1"> <caption>算数教育設備整備事業 令和3年度 整備率</caption> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>整備率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加悦小学校</td> <td>253.9</td> </tr> <tr> <td>岩滝小学校</td> <td>176.7</td> </tr> <tr> <td>石川小学校</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td>三河内小学校</td> <td>208.8</td> </tr> <tr> <td>市場小学校</td> <td>223.7</td> </tr> <tr> <td>山田小学校</td> <td>227.6</td> </tr> </tbody> </table>							学校名	整備率	加悦小学校	253.9	岩滝小学校	176.7	石川小学校	95.7	三河内小学校	208.8	市場小学校	223.7	山田小学校	227.6
学校名	整備率																			
加悦小学校	253.9																			
岩滝小学校	176.7																			
石川小学校	95.7																			
三河内小学校	208.8																			
市場小学校	223.7																			
山田小学校	227.6																			

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 各校毎に基準額が定められており、基準額を超えて整備を行うことはできないことから、各校ともに長期的視点を持ち、本当に必要な整備品を吟味していることもあり、前年度の水準の整備に留まったと考えられる。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 各先進国で近年の課題となっている「理科離れ」だが、技術立国である日本でも深刻な課題となっている。児童生徒のうちにいかに理科が素晴らしいか、楽しいかを学ぶことが「理科離れ」解決の重要な基礎となると考えられるので、この基礎を構築するために、この整備事業を促進していく必要がある。 「理科離れ」課題解決に向けていかに効果的な備品の整備を行うのか、このことが当該事業の課題と考えられる。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 学校と連絡を密に取りあいながら、各校が本当に求める備品の整備を行い、効果的に事業を進めていくべきと考えられる。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	小学校就学援助事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	学校教育法第19条、与謝野町就学援助規則 特別支援学校への就学奨励に関する法律、施行令、規則			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	各種支援を行うことにより、教育の機会を均等に与えることを目的とする。
------	------------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	教育の機会を均等に与えることが目的であるため、成果を数値として表すことが困難である。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	14,675	14,573	▲ 102	一般財源	12,227	12,135	▲ 92
事業費	12,488	12,453	▲ 35	国府支出金	261	318	57
職員人件費	2,187	2,120	▲ 67	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.30	0.30	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	小学校要・準要保護児童援助事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	11,831	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①就学援助費支給(年4回)・・・10,858千円					
	②新入学学用品費等 入学前支給・・・973千円					
① 支給費目・・・学用品費、通学用品費、新入学学用品費等、校外活動費、給食費、PTA会費、クラブ活動費、修学旅行費、卒業アルバム代等 小学校在籍児童数に対する認定率(年度末)・・・18.2%						
② 新入学学用品費等の入学前支給件数・・・18件						

細事業2	小学校特別支援教育就学奨励事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	622	R3新規									
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信											
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()												
令和3年度 of 取組と成果															
主な取組	①特別支援教育就学奨励費支給(年3回)・・・622千円														
	<p>・認定人数・・・23人/43人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>辞退</th> <th>要・準要保護 認定者</th> <th>就学奨励費 認定者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>43人</td> <td>2人</td> <td>18人</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・支給費目・・・学用品費・通学用品費、新入学学用品費・通学用品費、給食費、校外活動費、修学旅行費</p>							対象者	辞退	要・準要保護 認定者	就学奨励費 認定者	小学校	43人	2人	18人
	対象者	辞退	要・準要保護 認定者	就学奨励費 認定者											
小学校	43人	2人	18人	23人											

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 就学困難と認められる児童及び障がいのある児童の保護者に対して、就学に必要な経費を支給(就学奨励費については一部支給)した。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 教育の機会を均等に与えることを目的とした事業であり、今後も継続して実施する必要がある。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 就学援助費及び特別支援教育就学奨励費について、一定制度の周知はできているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変して援助が必要となる家庭に対しても、様々な広報媒体を活用し、また、学校事務職員とも連携し、事業の周知に努める。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	小学校教育振興事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備		施策名		
根拠法令等	与謝野町学校教育関係補助金交付要綱			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	児童への各種支援と保護者負担軽減の支援を行う。
------	-------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	児童への学力支援や保護者の負担軽減を行うことが目的であるため成果を数値として表わすことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	5,302	5,136	▲ 166	一般財源	2,278	2,573	295
事業費	3,116	3,723	607	国府支出金	195	126	▲ 69
職員人件費	2,186	1,413	▲ 773	地方債			0
参考				その他特定財源	643	1,024	381
正職員数(人)	0.30	0.20	▲ 0.10				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	学力診断・学校満足度調査等事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	1,503	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①学校満足度調査・・・847千円					
	②CRT学力検査・・・656千円					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校満足度調査:全児童対象で年に2回実施 安定した学校・学級運営を行うため本調査を実施し、不登校・いじめ防止等に努める。 ・CRT学力検査:全児童対象で年1回実施(国語・算数) それぞれの課題を把握することで、その後の学力アップに繋げる。 						

細事業2	小学校教育関係補助事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	2,094	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input checked="" type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①校外活動費補助金・・・128千円		⑤陸上記録会補助金・・・100千円			
	②芸術鑑賞費補助金・・・201千円		⑥修学旅行キャンセル料等補助金・・・1,024千円			
	③ヘルメット購入補助金・・・194千円					
	④修学旅行補助金・・・447千円					
	①校外活動費補助金:バス代等の交通費を補助(6件)		⑤陸上記録会補助金:各校で実施した記録会に必要な経費を補助し競技力向上に寄与した。			
	②芸術鑑賞費補助金:加悦小学校の和太鼓鑑賞に対し補助		⑥修学旅行キャンセル料等補助金:新型コロナウイルス感染防止のため増額した経費負担軽減の補助(6件)			
	③ヘルメット購入補助金:新1年生の自転車用ヘルメット購入補助					
	④修学旅行補助金:児童及び引率教員の負担軽減のため補助(200名)					
細事業3	幼小接続推進事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	126	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①体験入学等に係る消耗品・・・126千円					
	入学後の生活習慣や学習習慣の変化に対応できるよう、就学前の幼児が入学する小学校の児童と一緒に花植え体験や授業体験・給食体験を行った。また、こども園・小学校の教員同士も情報共有することで、個々の特徴についてもスムーズに引継ぎができた。					

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p>いずれの事業についても、令和2年度と同様に継続した事業実施ができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p>コロナウイルスの感染拡大防止に伴う各種経費が増大し、町財政・保護者負担が増加している。</p>	<p>(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p>国・府の各種補助金等を活用することで、町財政にも保護者にも負担にならないよう継続して支援の実施を行う。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	小学校教育振興費一般経費				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
	根拠法令等			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	時代にあった教材等を購入することで教育環境を充実させる。
------	------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	20,681	6,770	▲ 13,911	一般財源	20,640	6,770	▲ 13,870
事業費	20,681	6,770	▲ 13,911	国府支出金	41		▲ 41
職員人件費	0	0	0	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	小学校教育振興費一般経費	類型	一般型	細事業事業費(千円)	6,770	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①図書の購入・・・836千円					
	②教材備品の購入・・・647千円					
	③教材消耗の購入・・・4,491千円					
	購入した図書数・・・514冊					
	主な教材備品・・・逆上がり補助板、電子ピアノ、グラウンド整備用チェーンなど					

--	--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">大きく向上した。</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center; padding: 10px;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">新たな教材整備を行っているものの、予算の範囲内で優先順位を決めて整備している状態である。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">令和2年度から新学習指導要領に基づく学習が始まったため、新たな教材を整備する等の対応が必要となる。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">各学校の要望どおり整備することは困難であるため、引き続き優先順位を決めながら各種補助金も活用して整備を行う。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校管理運営事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等				関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	学校施設管理、保健管理を行い、教育環境の充実と安心安全な学校生活に寄与する。
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	学校運営と施設管理並びに児童生徒及び教職員への支援事業であるため、具体的な指標を示すことは困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	69,602	66,539	▲ 3,063	一般財源	50,878	42,169	▲ 8,709
事業費	50,878	42,169	▲ 8,709	国府支出金			0
職員人件費	18,724	24,370	5,646	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	1.20	1.25	0.05				
会計年度任用職員数(人)	3.85	9.00	5.15				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	中学校維持管理事業	類型	施設管理型	細事業事業費(千円)	23,710	R3新規	
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				
令和3年度の取組と成果							
主な取組	① 中学校作業員人件費 …3,141千円						
	② 学校施設の維持及び学校運営を実施(需用費・委託料・使賃) …21,543千円						
	③ 学校運営を支える各種団体への負担金 …688千円						
	② 江陽中学校体育館下通路舗装修繕 792千円 江陽中学校外灯緊急修繕 140千円 江陽中学校調理室配管及び水栓金具修繕 90千円						
	③ 校長会、教頭会負担金 58千円 日本スポーツ振興センター負担金 336千円 教育研究会負担金 294千円						

細事業2	教職員健康管理事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	217	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 中学校教職員への集団健康診査の実施(1回) …213千円					
	② 中学校教職員へのストレスチェックの実施(1回) …4千円					
学校保健法、労働安全衛生法に基づき、必要な検査を実施するもの。						
細事業3	児童生徒健康管理事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	2,454	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 学校医・学校歯科医・学校薬剤師への報酬…1,885千円					
	② 尿検査手数料(1次・2次)…100千円					
	③ 耳鼻科・眼科・心臓検診(1次・2次)に係る委託料…461千円					
生徒の各疾患を早期に発見するため、各種検査を実施した。						

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 (テキストボックス内に記入してください。) 新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、例年水準の事業を実施できた。 予算執行に当たっては優先順位を決めて事業を推進した。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 (テキストボックス内に記入してください。) 学校施設管理については年々老朽化が著しく、修繕内容も多岐にわたっており、それに伴い費用も増大している。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 (テキストボックス内に記入してください。) 各学校からの要望どおりに修繕をしていくことは困難であるため、引き続き優先順位を決めながら施設の修繕を行っていく。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校組合負担金				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	与謝野町宮津市中学校組合条例			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	安全で快適な学校経営を行うための組合運営がされるよう、交付税算入分並びに町市分担金の支出
------	--

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	組合及び学校運営を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	78,468	99,789	21,321	一般財源	77,010	99,082	22,072
事業費	77,010	99,082	22,072	国府支出金			0
職員人件費	1,458	707	▲ 751	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.20	0.10	▲ 0.10				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	中学校組合負担金	類型	内部管理型	細事業事業費(千円)	99,082	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 組合運営及び学校運営に係る支援(与謝野町負担分:56.031% R2.5.1生徒数基準144/257)					

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>中学校組合の運営経費の負担であることから前年と同水準である。</p> <p>ただし、令和2年度からの繰越事業(トイレ等改修)があったため、前年度より単年度における事業コストが大きくなっている。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>①構成市町間の情報共有を適切に行う必要がある。</p> <p>②負担金算出根拠の明確化・精緻化とその管理 宮津市からの生徒の編入が増え、事務の負担も多くなる中、町市負担金の増が懸念される。</p> <p>③経常経費について、交付税算入分では賅えない状況が通常となっており、町市負担金の増加を懸念せざる得ない状況である。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>組合立中学校の運営に必要な負担金である。</p> <p>今後は老朽化により修繕等が必要な学校施設について計画的に整備を実施する必要があり、負担金が増額となる見込みである。</p> <p>引き続き、気づいた課題に対して組合事務局及び構成市町間で連携を取りながら、少しずつ解決していくスタンスで臨む。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校情報教育推進事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名	
	根拠法令等				関連計画等	

2. 事業の目的

事業目的	ICT機器の活用による情報理解教育の推進を図る。
------	--------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	ICT機器の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	7,189	3,199	▲ 3,990	一般財源	7,189	3,199	▲ 3,990
事業費	7,189	3,199	▲ 3,990	国府支出金			0
職員人件費	0	0	0	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)			0.00				
会計年度任用職員数(人)			0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	中学校情報教育推進事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	3,199	R3新規	
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()				

令和3年度の取組と成果

主な取組	①パソコン機器をリース(使用料及び賃借料)・・・2,642千円 ②PC教室端末用ウイルス対策ソフトライセンスを購入(需用費)・・・172千円
------	---

パソコン教室配備端末



PC教室使用生徒数:365人

生徒用PC端末数:74台

--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 80%;">大きく向上した。</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>前年度に引き続き、生徒がPCを使用することができる環境の維持に努めた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>国のGIGAスクール構想により、各学校に配備されたタブレット型端末と並行して、どのようにその他のICT機器を有効活用していくのかが今後の大きな課題である。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>タブレット型端末と並行してその他のICT機器を有効活用する。</p> <p>PC教室の機器については、タイピング等の授業において必要なため、引き続き必要台数をリースし授業に活用していく。</p> <p>また、学習指導要領の改定によりプログラミング教育が導入されることに加え、GIGAスクール構想によりICT機器の活用推進を行う必要があるため、これに向けての授業研究・教職員研修及び必要機器の予算化が必要である。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校教育設備整備事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名	
根拠法令等	理科教育設備整備費等補助金交付要綱、理科教育振興法			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	整備率の向上と教育設備の充実を図る
------	-------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		理科教材備品の整備率	%	92.2/100	93.4/100	**/100	**/100
	数学備品の整備率	%	75/100	76.2/100	**/100	**/100	100/100
指標で表せない 成果・効果							

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
	総事業費	2,612	1,369		▲ 1,243	一般財源	687
事業費	1,154	663	▲ 491	国府支出金	467	271	▲ 196
職員人件費	1,458	706	▲ 752	地方債			0
参考	正職員数(人)	0.20	0.10	▲ 0.10	その他特定財源		0
	会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00			

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

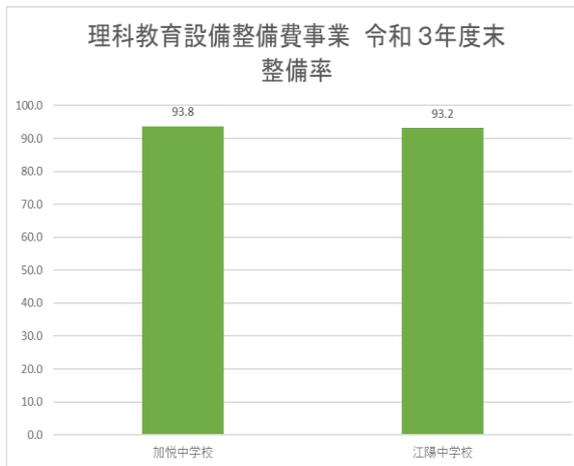
注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	中学校理科教育施設整備事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	605	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()			

令和3年度の取組と成果

主な取組	①カ学台車アルミ実験台、岩石プレパラートを購入(備品購入費)・・・106千円
	②静電高圧発生装置などを購入(備品購入費)・・・402千円



岩石プレパラート

細事業2	中学校数学教育施設整備事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	59	R3新規						
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信								
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他 ()									
令和3年度の取組と成果												
主な取組	①正多面体構成模型を購入(備品購入費)・・・36千円											
	②教授用マッチ棒セットを購入(需用費)・・・23千円											
<p style="text-align: center;">数学教育設備整備事業 令和3年度 整備率</p> <table border="1"> <caption>数学教育設備整備事業 令和3年度 整備率</caption> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>整備率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加悦中学校</td> <td>67.1</td> </tr> <tr> <td>江陽中学校</td> <td>85.5</td> </tr> </tbody> </table>							学校名	整備率 (%)	加悦中学校	67.1	江陽中学校	85.5
学校名	整備率 (%)											
加悦中学校	67.1											
江陽中学校	85.5											

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 <p style="margin-top: 10px;">各校毎に基準額が定められており、基準額を超えて整備を行うことはできないことから、各校ともに長期的視点に持ち、本当に必要な整備品を吟味していることもあり、前年度の水準の整備に留まったと考えられる。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 <p style="margin-top: 10px;">各先進国で近年の課題となっている「理科離れ」だが、技術立国である日本でも深刻な課題となっている。児童生徒のうちにいかに理科が素晴らしいか、楽しいかを学ぶことが「理科離れ」解決の重要な基礎となると考えられるので、この基礎を構築するために、この整備事業を促進していく必要がある。</p> <p>「理科離れ」課題解決に向けていかに効果的な備品の整備を行うのか、このことが当該事業の課題と考えられる。</p>	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 <p style="margin-top: 10px;">学校と連絡を密に取りあいながら、各校が本当に求める備品の整備を行い、効果的に事業を進めていくべきと考えられる。</p>								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校就学援助事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	学校教育法第19条、与謝野町就学援助規則 特別支援学校への就学奨励に関する法律、施行令、規則			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	各種支援を行うことにより、教育の機会を均等に与えることを目的とする。
------	------------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	教育の機会を均等に与えることが目的であるため、成果を数値として表すことが困難である。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	13,127	10,953	▲ 2,174	一般財源	10,363	8,656	▲ 1,707
事業費	10,566	8,762	▲ 1,804	国府支出金	203	106	▲ 97
職員人件費	2,561	2,191	▲ 370	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.31	0.31	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	中学校要・準要保護生徒援助事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	8,544	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①就学援助費の支給(年4回)・・・7,524千円					
	②新入学学用品費等 入学前支給・・・1,020千円					
① 支給費目・・・学用品費、通学用品費、新入学学用品費等、校外活動費、給食費、PTA会費、クラブ活動費、修学旅行費 体育実技用具費、卒業アルバム代等 町立中学校在籍生徒数に対する認定率(年度末)・・・19.7%						
② 新入学学用品費等の入学前支給件数・・・17件						

細事業2	中学校生徒遠距離通学支援事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	4	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 補助該当生徒の保護者へ補助金を支給 ……1人 通学距離が片道6km以上の生徒の保護者に対し通学費の補助を行う。【年間4,000円】					
細事業3	中学校特別支援教育就学奨励事業	類型	義務型	細事業事業費(千円)	214	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	① 特別支援教育就学奨励費支給(年3回)……214千円					
	対象者	辞退	要・準要保護 認定者	就学奨励費 認定者	・認定人数…5人/13人 ・支給費目…学用品費・通学用品費、新入学用品費・通学用品費 給食費、校外活動費、修学旅行費、体育実技用具費	
	中学校	13人	2人	6人	5人	

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明 就学困難と認められる生徒及び障がいのある生徒の保護者に対して、就学に必要な経費を支給(就学奨励費については一部支給)した。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題 教育の機会を均等に与えることを目的とした事業であり、今後も継続して実施する必要がある。	令和4年度以降における課題解決に向けた方向性 就学援助費及び特別支援教育就学奨励費について、一定制度の周知はできているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変して援助が必要となる家庭に対しても、様々な広報媒体を活用し、また、学校事務職員とも連携し、事業の周知に努める。								

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校教育振興事業				決算書頁	
					担当課	学校教育課
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費
					作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名	
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境の整備			施策名	
根拠法令等	与謝野町学校教育関係補助金交付要綱			関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	生徒への各種支援と保護者負担軽減の支援を行う。
------	-------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	生徒への学力支援や保護者の負担軽減を行うことが目的であるため成果を数値として表わすことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	3,815	3,097	▲ 718	一般財源	1,780	1,691	▲ 89
事業費	2,722	2,744	22	国府支出金	942		▲ 942
職員人件費	1,093	353	▲ 740	地方債			0
参考				その他特定財源		1,053	1,053
正職員数(人)	0.15	0.05	▲ 0.10				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	学力診断・学校満足度調査等事業	類型	一般型	細事業事業費(千円)	797	R3新規
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信		
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()			
令和3年度の取組と成果						
主な取組	①校内実力テスト・・・343千円					
	②学校満足度調査・・・335千円					
	③CRT学力検査・・・119千円					
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校満足度調査:全生徒対象で年に2回実施 安定した学校・学級運営を行うため本調査を実施し、不登校・いじめ防止等に努める。 ・CRT学力検査:1年生対象で年1回実施(国語・数学・英語) ・校内学力テスト:3年生対象で年3回実施(国語・数学・英語・理科・社会) それぞれの課題を把握することで、その後の学力アップに繋げる。 					

令和3年度 事業評価表

1. 事業の属性情報

事業名	中学校教育振興費一般経費				決算書頁		
					担当課	学校教育課	
歳出費目	款	教育費	項	中学校費	目	教育振興費	
						作成責任者	課長 柴田勝久
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち			分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成			施策名		
	根拠法令等				関連計画等		

2. 事業の目的

事業目的	時代にあった教材等の整備、部活動の支援を行うことで教育環境を充実させる。
------	--------------------------------------

3. 成果指標

事業目的達成のための成果指標 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	R2	R3	R4	R5	最終目標
			/	**/**	**/**	**/**	**()
			/	**/**	**/**	**/**	**()
指標で表せない 成果・効果	教材の整備等を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。						

4. 執行の状況

(単位:千円)

事業コスト	R2	R3	比較	財源	R2	R3	比較
総事業費	6,072	7,953	1,881	一般財源	4,249	7,929	3,680
事業費	6,072	7,953	1,881	国府支出金	1,823	24	▲ 1,799
職員人件費	0	0	0	地方債			0
参考				その他特定財源			0
正職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
会計年度任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00				

注)「事業コスト」欄、「財源」欄は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」欄は、便宜上、人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

5. 事業目的達成のための手段と成果

細事業1	中学校教育振興費一般経費	類型	一般型	細事業事業費(千円)	7,953	R3新規	
参画と協働手法	<input type="checkbox"/> 団体等への委託	<input type="checkbox"/> 団体等への補助	<input type="checkbox"/> 団体等との共催・連携	<input type="checkbox"/> 住民説明・情報発信			
	<input type="checkbox"/> 講座・フォーラム	<input type="checkbox"/> 審議会・検討会	<input type="checkbox"/> その他()				

令和3年度の取組と成果

主な取組	①教師用指導書・教材の購入・・・3,346千円
	②クラブ活動等によるバス借上料・・・1,633千円
	③教材備品の購入・・・512千円(体育用マットほか)
	④和装教室、職場体験等の謝礼・・・131千円



--	--

6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">大きく向上した。</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">向上した。</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">教科書改訂に伴う指導書や教材を整備することができた。また、令和3年度から全ての中学校で和装教室を開催することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">クラブ活動に伴うバスの借上料が増加傾向にあることが今後の課題となっている。</p>	<p>令和4年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p style="margin-top: 10px;">(テキストボックス内に記入してください。)</p> <p style="margin-top: 20px;">引き続き公共交通機関の利用や他校との共同利用を実施することで経費を削減する。</p>								